

# 川越市機能強化型地域包括支援センターから見た 川越市の介護予防事業 ～現状と課題～



川越市機能強化型地域包括支援センター連雀町  
理学療法士 佐藤大志

|       | 国・県の取り組み   | 川越市の取り組み  |
|-------|--|---|
| 平成12年 | 介護保険スタート   | 介護予防方法の検討                                       |
| 平成13年 | 全国でモデル事業（群馬県藤岡市 鬼石モデルなど）                                   |   |
| 平成14年 |  | 高齢者筋力向上トレーニング事業開始<br>→SKIPトレーニングセンターを霞ヶ関南病院内に開設 |
| 平成15年 | マシントレーニング全国普及  | 転倒骨折予防教室（単発型）                                   |
| 平成16年 |  | 転倒骨折予防教室（複数回型）                                  |
| 平成17年 |  | 転倒骨折予防教室が拡大                                     |
| 平成18年 | 地域包括支援センター設置   | 新予防給付スタート<br>転倒予防教室から体力づくり教室へ                   |
| 平成19年 |  | 自主グループづくりの検討・試み                                 |
| 平成20年 |  | 体力づくり教室等から自主グループ化拡大                             |
| 平成21年 |  | 介護予防サポーター養成開始（1期生）                              |
| 平成22年 |  | 介護予防事業のマニュアル化<br>介護予防担当者による検討会議                 |
| 平成23年 |  | 住民やサポーターのフォローアップ開始<br>介護予防を検討する会の設置             |
| 平成24年 | 全国の介護予防の成功市町村リサーチ  | ↓   |
| 平成25年 |  | ↓   |
| 平成26年 | 国：地域づくりによる介護予防事業<br>→モデル事業 26都道府県<br>県 地域リハビリテーション支援体制整備事業 |   |
| 平成27年 | 地域づくりによる介護予防事業 県内13市町で実施                                   | 機能強化型の地域包括支援センターを設置                             |
| 平成28年 | 国 介護予防活動普及展開事業<br>県 地域包括ケアシステムモデル事業（3年）<br>→県内13市町村        |   |
| 平成29年 | 県内18市区町  | 介護予防サポーター養成（9期生）                                |
| 平成30年 | 総合事業への移行が完了、新しい介護予防の深化                                     |   |

# 住民運営による通いの場

健康であり続ける

要支援・介護者を増やさない+減らす

川越市：182グループ 3,640名が参加（H30年1月）

埼玉県：481グループ 11,229名が参加（H30年1月）



# 介護予防ボランティア養成講座

支え手を増やす

活躍を通して役割を持つ

川越市： 948名（H30年1月）

埼玉県： 2,470名（H30年1月）



# 介護予防普及啓発事業

- ・ 介護予防の取り組み成果を、市民に広く伝達するため、開始。
- ・ 市全体では、年1回開催。地域包括支援センターも各圏域で開催。
- ・ 市内で活動する自主グループや、ボランティアさんへのフォローアップ
- ・ 運営の協力体制

住民・介護予防サポーター・自治会・市 地域包括ケア推進課・地域包括支援センター  
市 医師会・リハ職（地域リハ・ケア サポートセンター＋協力医療機関）



参加者1,000人以上

# 地域リハビリテーション・ケアサポートセンターとの連携

## ➤ 自主グループ支援（出前講座）



理学療法士：転倒予防教室など

作業療法士：認知症予防教室など

言語聴覚士：誤嚥性肺炎の予防など

## ➤ 介護予防普及啓発事業への協力

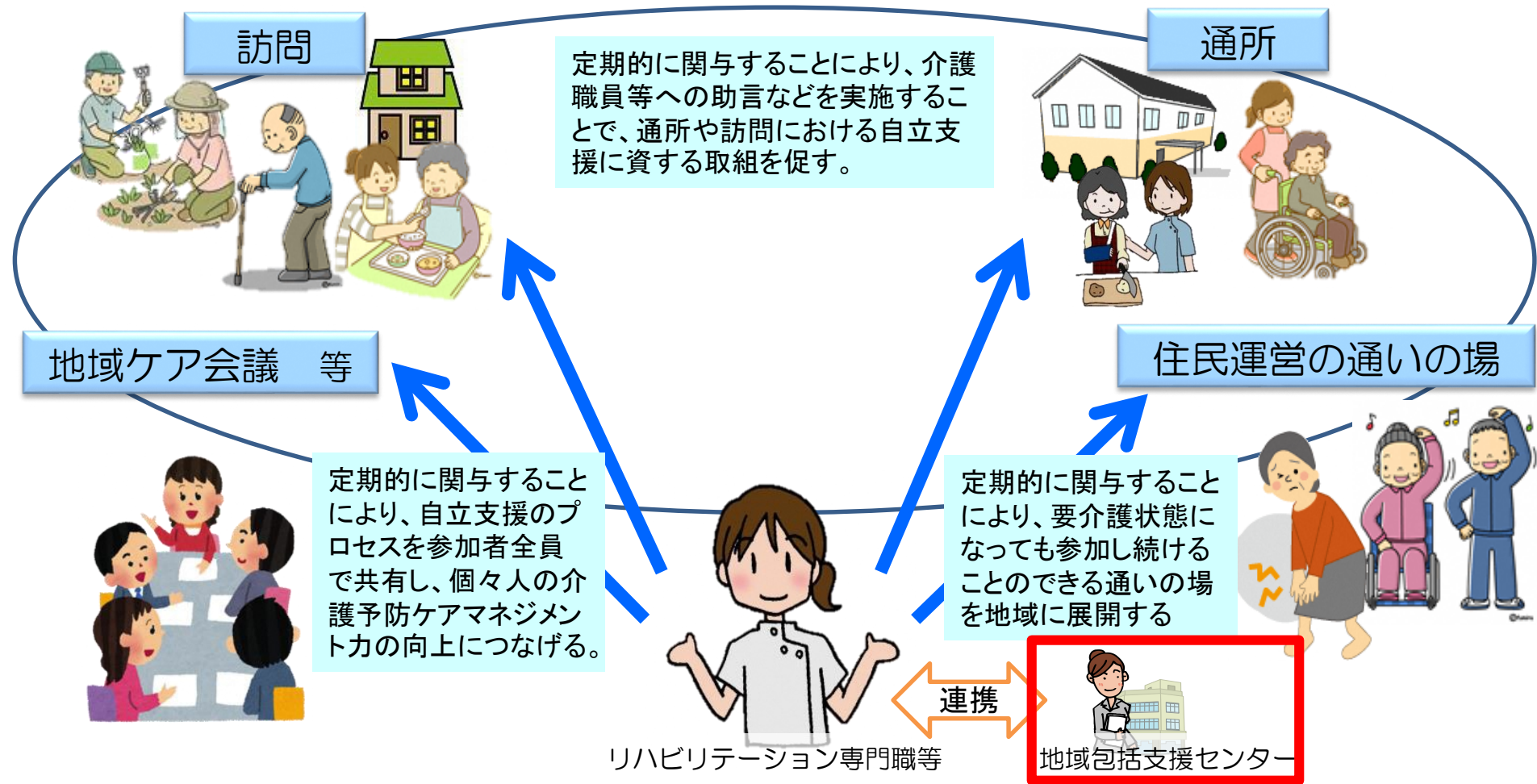
→ 体力測定会や相談会の実施、講演会の講師など

## ➤ その他介護予防事業への講師の派遣

→ 介護予防サポーター養成講座、いもっこ体操教室など

# 地域リハビリテーション活動支援事業の概要

- 地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する。



リハビリテーション専門職等は、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等の介護予防の取組を地域包括支援センターと連携しながら総合的に支援する。

## 機能強化型 活動実績（H29.4～H30.3）

- 個別訪問(福祉用具・住宅改修・リハビリ相談) 145件
- 介護予防サポーター養成講座・フォローアップ講座 13件
- 介護予防普及啓発事業（市主催・各包括主催） 5件
- 自主グループ立ち上げ支援 13件
- 出前講座、自主グループ継続支援 48件
- CM情報交換会講師 2件
- 認知症予防教室講師 6件
- グループホーム支援 3件
- その他（オレンジカフェ運営、認サポ養成講座等） 10件

※件数は延べ数です



# 介護予防を推進するためのその他の事業

## 【健康づくり支援課】

- ・体力アップ倶楽部（初級・中級）
- ・ときも体力測定会
- ・ラジオ体操やコバトン健康マイレージの推進  
→ラジオ体操のグループの数は、埼玉県 1 位

## 【高齢者いきがい課】

- ・生きがいデイサービス
- 家に閉じこもりがちな高齢者(要介護・要支援認定者、事業対象者を除く)が通えるデイサービス

## 【社協委託事業】

- ・介護支援いきいきポイント事業  
→登録施設でボランティアをすることでポイントをためると、市の特産品がもらえる
- ・生活支援体制整備事業

# 川越市 状態別の介護予防事業の整理 (H30.5)

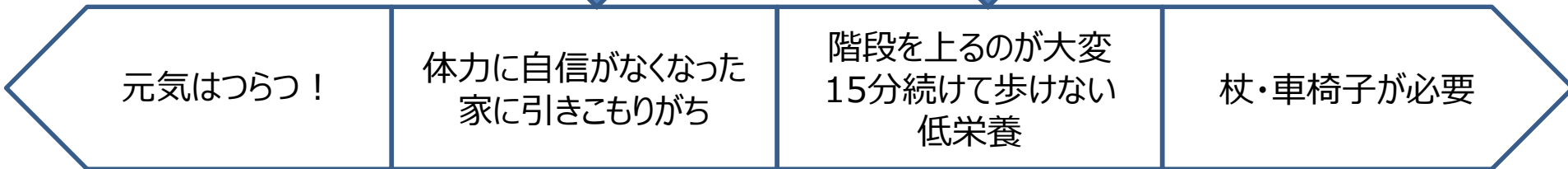


© 川越市2010

ガイド機能

①包括、②ケアマネジャー、③ときも体力測定会  
などで、対象者の状況をアセスメント

赤：ケア推進課  
緑：健康づくり支援課  
青：高齢者いきいき課  
紫：社協



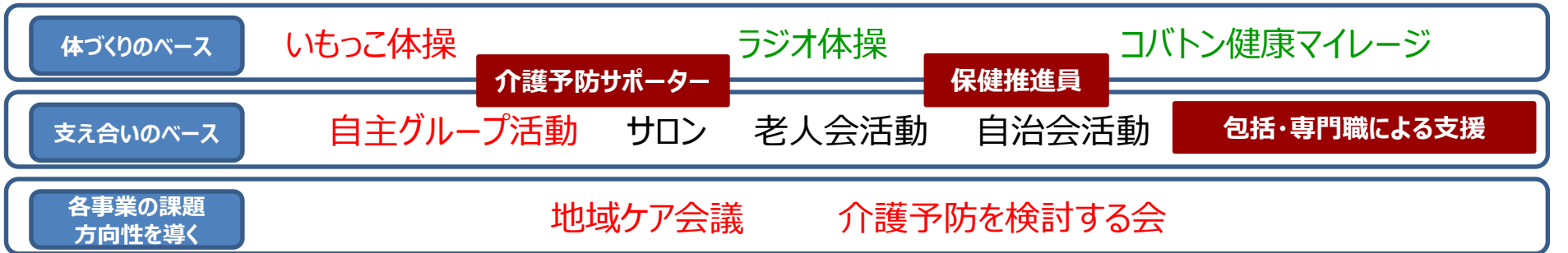
・シルバー人材センター ・各種ボランティア活動  
・介護支援いきいきポイント事業  
↓  
生きがいや役割の獲得

体力アップ倶楽部  
(初級編・中級編)  
↓  
介護予防サポーター  
養成講座

生きがいデイサービス  
↓  
趣味活動の獲得  
閉じこもりの防止

ときも運動教室  
(通所C)  
↓  
生活機能 + IADLの  
改善  
↓  
いきいき栄養訪問  
(訪問C)  
↓  
栄養状態の改善

介護保険のリハビリ  
↓  
生活機能 + ADLの  
維持・改善  
**自立支援・重度化防止**



# 今後の課題

- 川越市の介護予防事業には歴史があり、介護予防をより一層推進していく体制は整っている
- 地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、地区担当保健師等がより密に連携をとりながら、**地域課題を抽出**し、既存の介護予防事業を実情に合わせて深化・推進していく事（総合事業の創出も含む）が課題
- 介護予防事業の**効果判定**を何で測るのか（要介護認定率、健康寿命、医療・介護保険請求額、基本チェックリストの該当率、高齢者の介護予防事業への参加率…など）、明確な指針が必要

川越市の介護予防の愛称  
いきいきエイジング！

